

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2023年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、(社)日本マスタース陸上競技連合規定及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

## 1 競技者の招集について

- (1) 招集場所は、競技場100mスタート地点の後方（第1ゲートの外側）とする。
- (2) 招集方法
  - ① 競技者は招集開始時刻までに1次点呼（○付け）を行い、その後、招集完了時刻に各競技開始場所へ直接集合すること。
  - ② 招集開始時刻までに1次点呼（○付け）を行わない、または、招集完了時刻に競技開始場所に居ない競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなされ出場できない。
  - ③ 代理人による最終点呼は認めない。
- (3) 招集開始時刻（○付け）及び招集完了時刻（現地集合時刻）は、すべてその競技開始時刻を規準とし、下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	25分前	15分前
フィールド種目	45分前	30分前

- (4) 他競技に出場の競技者については、競技者自身または監督により、その旨を競技者係及びその競技の審判員に申し出て出場の許可を得ること。
- (5) リレー競技に出場するチームは、第1組の招集完了1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。オーダー用紙は競技者係から受け取ること。  
なお、小学男子のリレー競技（4×100mR）のオーダー用紙提出は、8時00分とする。

## 2 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブス（1-9）は、各自で用意すること。必ずユニフォームの胸・背に着けること。但し、跳躍競技に出場する者は、胸・背のいずれかで良い。
- (2) 800m以下のトラック競技出場者は、腰ナンバーカードを各自で用意し、右側後方に付けること。
- (3) 1500m出場者は、腰ナンバーカードを競技者係で受け取り使用すること。また、800m出場者で10レーン以上の場合、腰ナンバーカードを競技者係で受け取り使用すること。

## 3 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① スターターの合図は、英語（「On Your Marks」「Set.」）で行う。不正スタートをした場合は、小学生は同じ競技者が2回で失格、中学生以上は1回目で失格とする。
  - ② 短距離種目では、競技者安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。リレーのセパレートレーンでバトンパスを行う場合は、バトンパス後も自分のレーンを走ること。また、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。
  - ③ タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定については、最終枠に同記録がある場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を判定する。それでも同成績者がありレーンが不足する場合は、同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が大会本部に来なかった場合は、主催者が代行する。
  - ④ 短距離種目は、風の状況により、バックストレートフィニッシュを行うこともある。
  - ⑤ 中学男女800mは、階段スタートとする。
- (2) フィールド競技について
  - ① マスタース男子・女子走高跳のバーの上げ方は、当日決定する。
- (3) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。これらのピンの直径は、少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。

(4) シューズの靴底（ソール）の厚さについて(TR5.2)

- ① トラック種目について、800m未満の種目（4×100mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。
  - ② フィールド種目については、本大会ではTR5.2を適用除外とする。よってWAのフィールドシューズ規定に不適合なシューズを使用する場合でも、大会参加には影響はない。ただし、記録については国内で通用する記録としての取り扱い（公認記録、国内上位大会参加資格記録、大会記録）となる。よってその記録は国際大会等での参加資格となる記録やU18/U20日本記録としては認められない。
- ※必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することもある。
- (5) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
  - (6) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない。
  - (7) 競技の進行上、競技開始時刻が変更になる場合があるので、放送に注意すること。
  - (8) 競技に使用する用具は、すべて主催者が用意したものをを使用すること。
  - (9) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

4 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表はアナウンスで行う。競技結果の掲示は行わないので、アスリートランキングで確認すること。但し、決勝のスタートリストのみ、招集所での掲示を行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則TR 7 に定められている時間内（同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員（トラック・フィールド）を通じて Jury に文書で申し出る。

5 開門及び本競技場開放時間について

- (1) 各駐車場 6時00分開門
- (2) 本競技場 7時00分開門
- (3) 本競技場開放時間 7時00分～8時00分

6 その他

- (1) 受付は、7時15分頃からエントランスホールにて行う。
- (2) プログラム訂正は、8時00分までに大会総務に申し出る。
- (3) 役員全体打合せは、7時50分からメインスタンド前で行い、その後各パート打合せを行う。
- (4) 種目ごとの1位にメダル、1位～3位には賞状を授与する。また、競技終了後、1位から3位に入賞した競技者は、直ちにエントランスホールに集合すること。
- (5) 全競技終了後、最優秀選手賞（札幌陸上競技協会会長）、優秀選手賞（北海道新聞社、読売新聞社、報知新聞社、北海道日刊スポーツ新聞社）を授与する。なお、大会記録等、好記録樹立者から選考する。
- (6) 参加者への大会プログラムは、各チーム5名に1冊配布する。
- (7) ウォーミングアップは競技の妨げにならないよう、競技場内で行ってよい。
- (8) 自分のゴミは持ち帰ること。
- (9) テントの設置は、取扱説明書をよく読み、設営をしっかりと行い、風が強いときはたたむなど対策をすること。
- (10) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、主競技場内の救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
- (11) 新型コロナウイルス感染症に関して、主催者は当該競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- (12) 本大会に関して寄せられた個人情報、本大会の目的以外に使用することはない。  
参加申込により、この取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・記録の紹介や掲示板、ホームページに掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。
- (13) 補助競技場は、使用できません。（※他団体が使用します）
- (14) 車の駐車について、審判員は第一駐車場に止めること。第2駐車場は使用できません。なお、一般の方の駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。